

1 モエン標準施工法

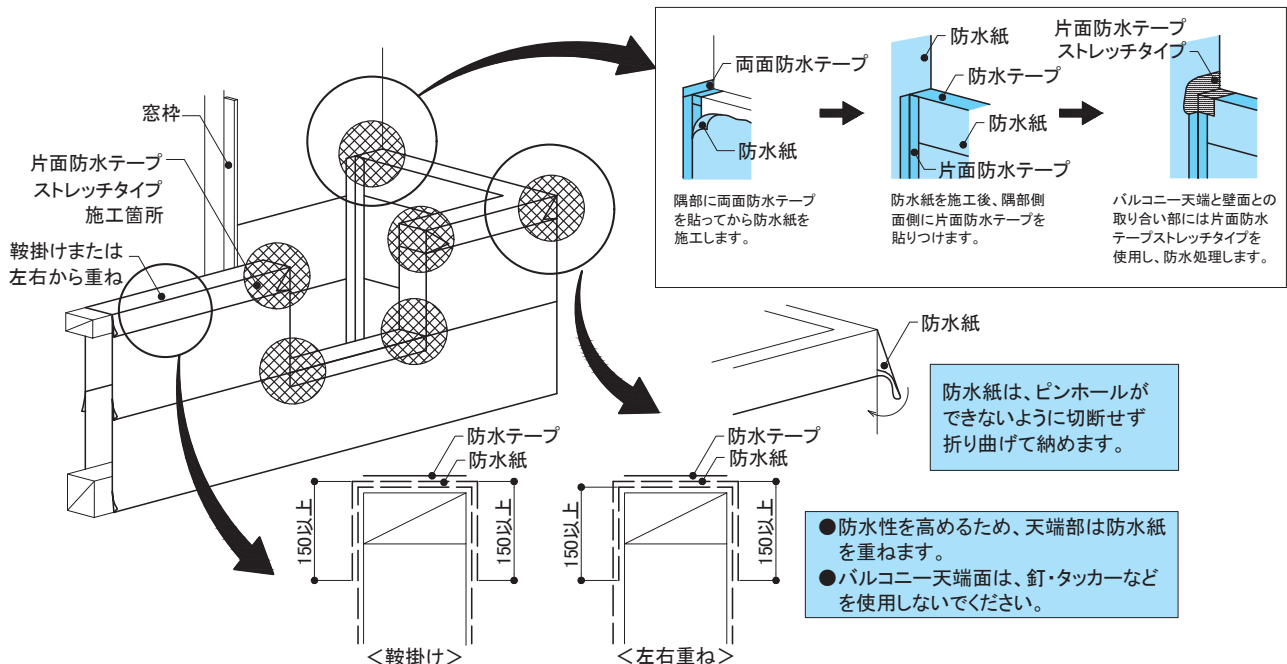
1-12 防水紙張り

9) バルコニー笠木部の防水紙の張り方

「両面防水・片面防水・片面防水ストレッチタイプ」以下「防水テープ」または「スポットガード」を施工します。

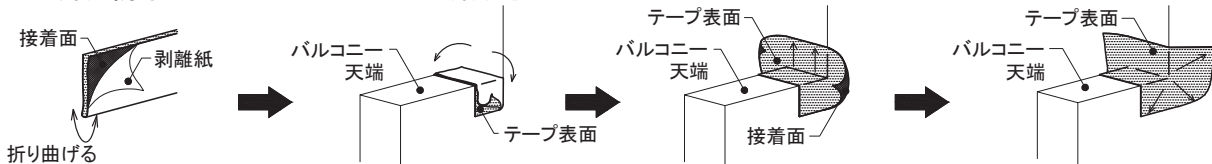
① 防水テープを使用する場合

- バルコニーの笠木部には、防水性を高めるため、天端部は防水紙を重ねます。(鞍掛けまたは左右重ね)
また、重ね合わせは、150mm以上にします。
- 防水紙が張り上がった後、ビス孔などから漏水を防ぐため笠木ファスナーが取り付けられる位置に防水テープを増し貼りします。
(笠木ファスナーの取付位置は、事前に笠木取り付け工事業者様または現場管理者に確認してください。)
- バルコニー隅部は、躯体と防水紙を両面防水テープで圧着した後、側面部には片面防水テープを貼り、天端部には片面防水テープストレッチタイプを貼り付けます。



漏水を防ぐため、防水テープ部に釘、タッカーなどを留め付けないようご注意ください。

■ 片面防水テープストレッチタイプの貼り方



手順①

- テープを必要長さに切り取り、剥離紙が外側になるよう幅方向に2つ折りしてください。その後、片側の剥離紙を取り除きます。

※カッターナイフでテープを切断する場合は、自背面(剥離紙面と反対面)を上にして切断します。

※バルコニー隅部は75mm幅テープを推奨します。

手順②

- 右図のように入隅部にテープを密着させて貼り付けます。
※テープは伸ばしたりせず、無理なく貼り付けます。

手順③

- 残りの剥離紙を取り除き、テープ中央部を押し広げながら壁面に貼り付けます。

手順④

- コーナー部を指で押さえ、壁側面へシワが入らないように、押し広げながら貼り付けます。
※テープはテープ長さ方向とともに幅方向にも広げます。



笠木と外壁の取合い部(壁止まり部)では、通気層内に浸入した雨水が滞留しないよう適切に施工してください。